



RYOWA REPORT

株主通信 *vol.15*

第59期中間期 業績のご報告

平成19年4月1日～平成19年9月30日

空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

テクノ菱和はこの度第59期(平成19年4月1日から平成20年3月31日)の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

建設業界におきましては、民間企業の設備投資意欲は堅調に推移したものの、建築基準法の改正に伴う建築確認検査業務の大幅な遅れを原因とする工事着工数減少とともに、公共事業建設投資の減少基調は止まらず、同業者間の価格競争が一段と激しさを増しており、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

当中間期は本年4月の社長就任時に三位一体として掲げた「コンプライアンスの徹底」「安全と品質の確保」「利益の確保」を軸に経営基盤の改善・強化を図るとともに、積極的な営業展開を行い受注確保に取り組んでまいりました。その結果、売上高につきましてはほぼ計画どおりに推移しましたものの、産業設備工事の受注高は計画未達となりました。また利益につきましては、受注価格の下落と工事原価の高騰により工事粗利益率が低下したことに加え、貸倒引当金ならびに投資有価証券および遊休不動産の減損損失を計上したことにより、計画を大幅に下回る結果となりました。

今後につきましては、当社が得意とする産業設備工事やリニューアル工事を重点に営業展開し受注確保に努めるとともに、一層の経費削減や工事原価の低減に取り組み、収益力の改善に総力をあげて取り組んでいく所存であります。

また、企業の社会的責任が重要視されるなか、当社といたしましては、環境保全分野での新機軸の構築や長期的な視点に立った人材育成など、中期事業計画に掲げた諸施策を実行することで経営基盤の強化を図るとともに、社会との共生を図り企業の継続的發展を果たしていくことを目指してまいります。

なお、当期の業績見通しにつきましては、売上高570億円、経常利益9.3億円、当期純利益3.0億円を見込んでおります。また、中間配当金につきましては、期初の予定どおり前年より50銭増配して1株につき6円とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



株式会社テクノ菱和
代表取締役社長

阿部 捷司

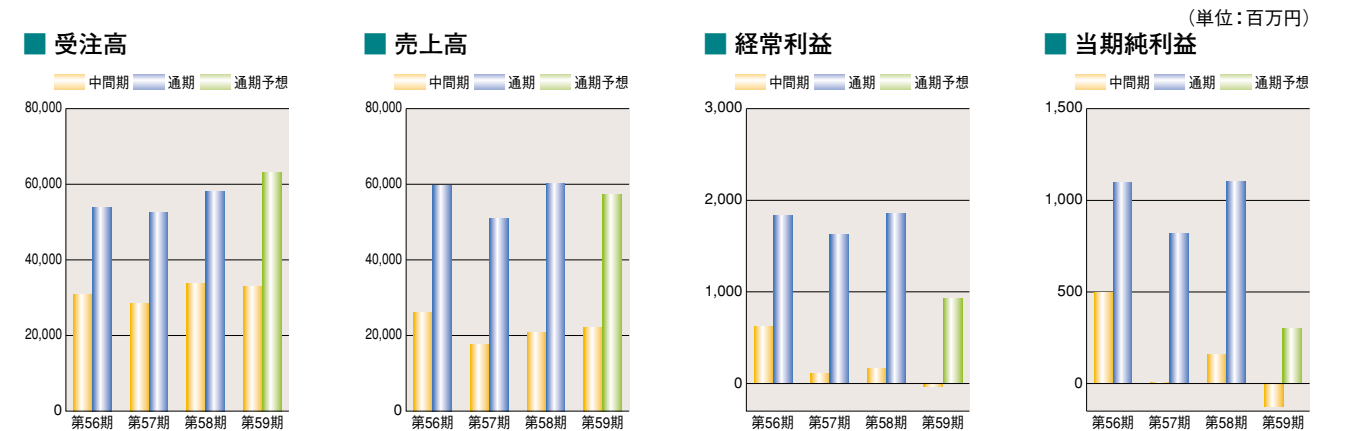
業績の推移

主要な経営指標等の推移(単体)

	第56期中間期 (通期)	第57期中間期 (通期)	第58期中間期 (通期)	第59期中間期 (通期予想)
受注高 百万円	30,781 (53,956)	28,496 (52,497)	33,714 (58,961)	32,825 (63,000)
売上高 百万円	25,976 (59,568)	17,723 (51,054)	20,669 (60,010)	21,925 (57,000)
経常利益 百万円	621 (1,833)	105 (1,627)	168 (1,859)	△35 (930)
中間(当期)純利益 百万円	497 (1,098)	3 (821)	157 (1,103)	△125 (300)
純資産額 百万円	19,457 (20,268)	20,339 (21,644)	21,218 (22,204)	21,397
総資産額 百万円	42,431 (43,649)	37,711 (45,209)	43,223 (50,941)	41,969
自己資本比率 %	45.9 (46.4)	53.9 (47.9)	49.1 (43.6)	51.0
1株当たり純資産額 円	934.99 (973.11)	977.51 (1,039.44)	1,019.79 (1,067.20)	1,028.46
1株当たり中間(当期)純利益 円	23.91 (51.87)	0.15 (38.68)	7.56 (53.06)	△6.01 (14.42)
1株当たり中間(年間)配当金 円	5.0 (14.0)	5.0 (14.5)	5.5 (15.0)	6.0 (15.5)

※括弧内の数字は通期の実績を表しております。

※第59期(通期予想)の数字は現時点における当期の業績予想額となっております。



事業の概況 (セグメント別)

産業設備関連事業

当社は、半導体・医薬品製造など高度な最先端施設において、様々な環境技術を駆使し、お客様に信頼性の高いクリーンシステムを提供しております。

当中間期は、売上高は期初計画どおりに推移したものの、工事受注につきましては、同業者間での価格競争が激しさを増していることから苦戦を強いられました。

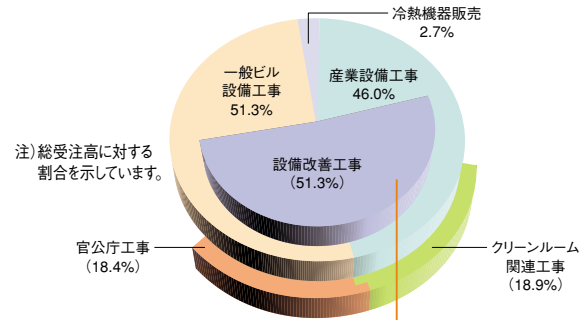
当期の見通しにつきましては、下半期に大型プロジェクトの受注を控えており工事受注は堅調に推移すると予想しております。また今後も長年培われた技術力で他社との差別化を図り、技術・営業部門が一体となった技術提案型の営業を推し進め、収益力の向上を目指してまいります。

一般ビル設備関連事業

オフィスビルなどの生活空間から、医療・介護施設での環境づくりまで、生活に密着した環境技術を通じ、ゆとりある都市空間の創造に貢献しております。

当中間期は、大型商業施設や教育・病院施設などの受注が順調に推移しておりますが、価格の低迷が続いていることから、受注環境は非常に厳しい状況にあります。今後不採算工事排除のため、受注判断を更に厳格化し選別受注を進めることで、利益の確保に努める所存であります。

■ 当中間期受注高構成比



■ 設備改善工事について

『リフォーム・リニューアル』をキーワードに、設備改善やメンテナンス工事を中心とした業務分野です。

地球温暖化防止の観点から、従来のスクラップ&ビルドに替わり、既存施設のリニューアル工事や省エネルギー化へのニーズが高まっております。

当社はメンテナンス部門を通じて、老朽施設に対する設備改善策や省エネルギー化への立案などの技術提案を行い、環境に優しく、付加価値のある効率的な設備システムをお客様に提供してまいります。

施工実績



ホーユー株式会社総合研究所新棟 (愛知県長久手町)



ライフガーデン流山おおたかの森 (千葉県流山市)



岡崎市東庁舎 (愛知県岡崎市)



立川駅前商業ビル開発プロジェクト「NIS WAVE.1」 (東京都立川市)

TOPICS 大型技術展示会に当社専用ブースを出展

本年6月から7月にかけて東京ビッグサイトで開催された大型技術展示会「インターフェックスジャパン」、「エネルギーソリューション&蓄熱フェア」に専用ブースを出展し開発製品の展示を行いました。会期中、当社ブースにはメーカー関係者やお客様に多数お越しいただき、当社技術者による開発製品の説明や商談などが活発に行われました。



展示会名称	第20回インターフェックスジャパン	エネルギーソリューション&蓄熱フェア'07
展示会テーマ	医薬品、化粧品・洗剤 研究開発/製造技術国際展	地球温暖化をヒートポンプが解決する
会期	2007年6月20日~22日	2007年7月25日~27日
展示会入場者数	約50,000名(内当社ブース来場者 約2,000名)	約22,000名(内当社ブース来場者 約1,500名)

TOPICS 社員教育の新たな取り組み

従来から総合職員には2ヶ月間におよぶ新入社員集合研修や中堅技術者教育等の充実した研修プログラムを実施していますが、本年より新たな取り組みとして、女性一般職員にも技術教育研修を始めました。繁忙期の積算支援を行い業務の内製化を図ることを目的としています。また技術的なスキルを身に付けることで在宅勤務や退職後のライフプランを支援する体制を整えます。



財務諸表 (連結)

中間連結貸借対照表の要旨

科目	前中間期 (平成18年9月30日)	当中間期 (平成19年9月30日)	前事業年度 (平成19年3月31日)
資産の部			
流動資産	34,047	32,859	41,562
現金預金	7,812	5,533	7,737
受取手形・完成工事未収入金等	17,228	20,800	28,232
未成工事支出金等	7,921	5,567	4,322
その他	1,086	958	1,270
固定資産	11,286	11,273	11,756
有形固定資産	3,228	3,122	3,194
無形固定資産	254	269	273
投資その他の資産	7,803	7,881	8,288
資産合計	45,334	44,132	53,319

中間連結損益計算書の要旨

科目	前中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	21,782	23,160	63,093
売上原価	19,103	20,515	55,924
売上総利益	2,678	2,644	7,169
販売費及び一般管理費	2,630	2,794	5,393
営業利益	48	△149	1,775
営業外損益	118	135	197
経常利益	167	△13	1,972
特別損益	251	△114	234
税金等調整前中間(当期)純利益	418	△128	2,207
法人税、住民税及び事業税	216	43	787
法人税等調整額	48	△44	247
中間(当期)純利益	154	△126	1,171

(単位:百万円)

科目	前中間期 (平成18年9月30日)	当中間期 (平成19年9月30日)	前事業年度 (平成19年3月31日)
負債の部			
流動負債	21,568	20,260	28,351
支払手形・工事未払金等	17,108	15,944	25,414
未成工事受入金	2,635	2,521	836
その他	1,825	1,795	2,101
固定負債	1,610	1,474	1,759
負債合計	23,179	21,734	30,110
純資産の部			
株主資本	20,072	20,676	20,977
資本金	2,746	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498	2,498
利益剰余金	14,828	15,433	15,733
自己株式	△1	△2	△1
評価・換算差額等	2,082	1,721	2,231
純資産合計	22,154	22,397	23,208
負債純資産合計	45,334	44,132	53,319

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

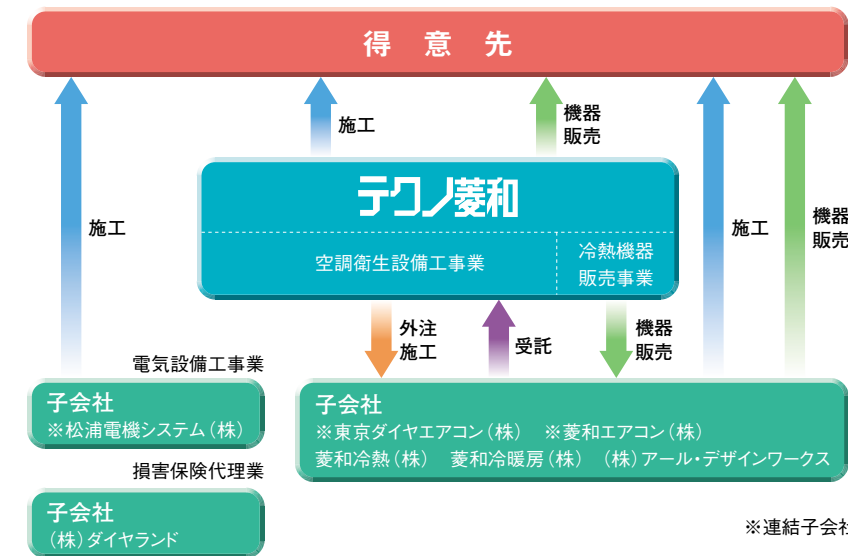
科目	前中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△616	△1,686	△456
投資活動によるキャッシュ・フロー	528	△277	446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276	△227	△431
現金及び現金同等物の増減額	△364	△2,191	△441
現金及び現金同等物期首残高	7,736	7,295	7,736
現金及び現金同等物中間(期末)残高	7,371	5,104	7,295

中間連結株主資本等変動計算書の要旨

当中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) (単位:百万円)

科目	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
前事業年度末残高	2,746	2,498	15,733	△1	20,977	1,897	333	2,231	23,208
当中間期の変動額									
剰余金の配当			△197		△197				△197
中間純利益			△126		△126				△126
自己株式の取得				△0	△0				△0
土地再評価差額金取崩額			24		24				24
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△454	△55	△510	△510
当中間期変動額合計	-	-	△300	△0	△300	△454	△55	△510	△811
当中間期末残高	2,746	2,498	15,433	△2	20,676	1,443	277	1,721	22,397

■ 企業集団の状況



■ 連結子会社

- 東京ダイアエアコン(株)**
住所:東京都新宿区
資本金:30,000千円
主要な事業の内容:空調衛生設備工事業
- 菱和エアコン(株)**
住所:愛知県名古屋市
資本金:40,000千円
主要な事業の内容:空調衛生設備工事業
- 松浦電機システム(株)**
住所:大阪府守口市
資本金:20,000千円
主要な事業の内容:電気設備工事業

財務諸表 (単体)

中間貸借対照表の要旨

科目	前中間期 (平成18年9月30日)	当中間期 (平成19年9月30日)	前事業年度 (平成19年3月31日)
資産の部			
流動資産	31,916	30,614	39,127
現金預金	6,572	4,208	6,350
受取手形・完成工事未収入金等	16,750	20,131	27,374
未成工事支出金等	7,539	5,336	4,143
その他	1,053	937	1,258
固定資産	11,307	11,355	11,814
有形固定資産	3,081	2,983	3,052
無形固定資産	236	254	256
投資その他の資産	7,989	8,118	8,504
資産合計	43,223	41,969	50,941

中間損益計算書の要旨

科目	前中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	20,669	21,925	60,010
売上原価	18,211	19,508	53,405
売上総利益	2,458	2,416	6,605
販売費及び一般管理費	2,404	2,582	4,934
営業利益	53	△165	1,670
営業外損益	114	129	188
経常利益	168	△35	1,859
特別損益	251	△115	230
税引前中間(当期)純利益	420	△151	2,089
法人税、住民税及び事業税	212	37	747
法人税等調整額	50	△62	237
中間(当期)純利益	157	△125	1,103

(単位:百万円)

科目	前中間期 (平成18年9月30日)	当中間期 (平成19年9月30日)	前事業年度 (平成19年3月31日)
負債の部			
流動負債	20,692	19,340	27,268
支払手形・工事未払金等	16,523	15,226	24,509
未成工事受入金	2,438	2,427	798
その他	1,730	1,686	1,959
固定負債	1,313	1,232	1,469
負債合計	22,005	20,572	28,737
純資産の部			
株主資本	19,143	19,678	19,977
資本金	2,746	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498	2,498
利益剰余金	13,899	14,435	14,733
自己株式	△1	△2	△1
評価・換算差額等	2,074	1,719	2,226
純資産合計	21,218	21,397	22,204
負債純資産合計	43,223	41,969	50,941

■ CLOSE UP ■

売上総利益
産業設備関連事業での工事完成が順調に推移したため、売上高は前年同期を上回る結果となりましたが、工事原価が高騰傾向にあり、価格競争により採算性の厳しい工事が多かったことから、売上総利益は前年同期に比べ減少いたしました。

販売費及び一般管理費
取引先が民事再生手続開始の申立てを行ったことにより、個別に債権の回収可能性を勘案した結果、貸倒引当金として61百万円計上いたしました。

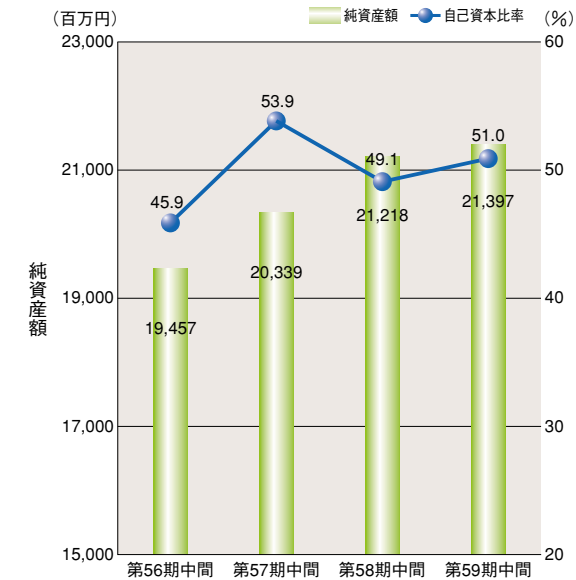
特別損益
大阪府枚方市に所有する不動産について減損損失として75百万円を計上いたしました。また保有株式の株価下落により投資有価証券評価損として54百万円を計上いたしました。

中間株主資本等変動計算書の要旨 当中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

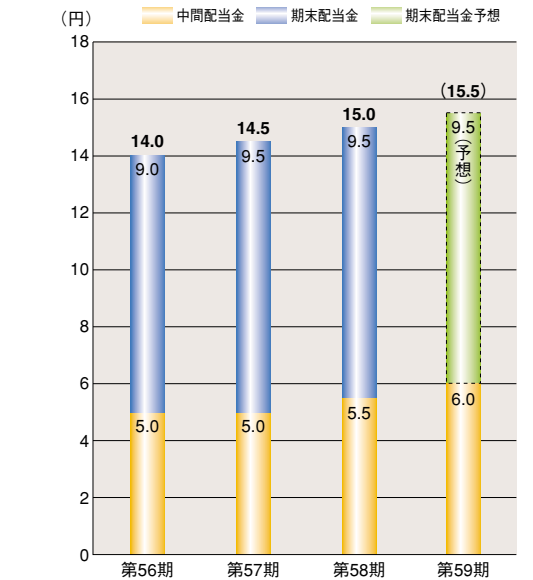
(単位:百万円)

科目	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
前事業年度末残高	2,746	2,498	14,733	△1	19,977	1,892	333	2,226	22,204
当中間期の変動額									
剰余金の配当			△197		△197				△197
中間純利益			△125		△125				△125
自己株式の取得				△0	△0				△0
土地再評価差額金取崩額			24		24				24
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△451	△55	△507	△507
当中間期変動額合計	-	-	△298	△0	△299	△451	△55	△507	△806
当中間期末残高	2,746	2,498	14,435	△2	19,678	1,441	277	1,719	21,397

■ 純資産額と自己資本比率の推移



■ 1株当たり配当金の推移



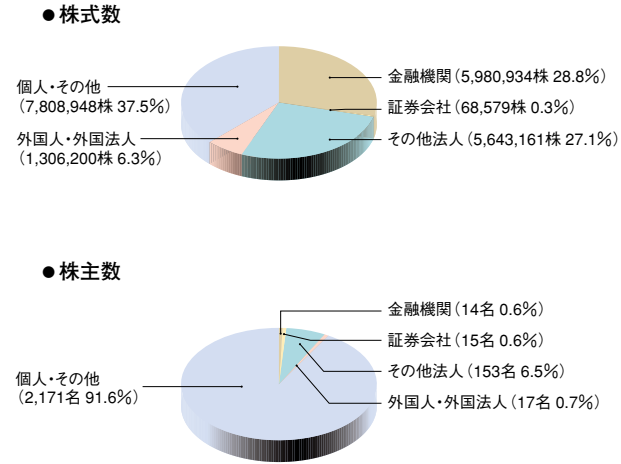
株式の状況

発行済株式の総数 20,807,822株
 当中間期末現在の株主総数 2,370名

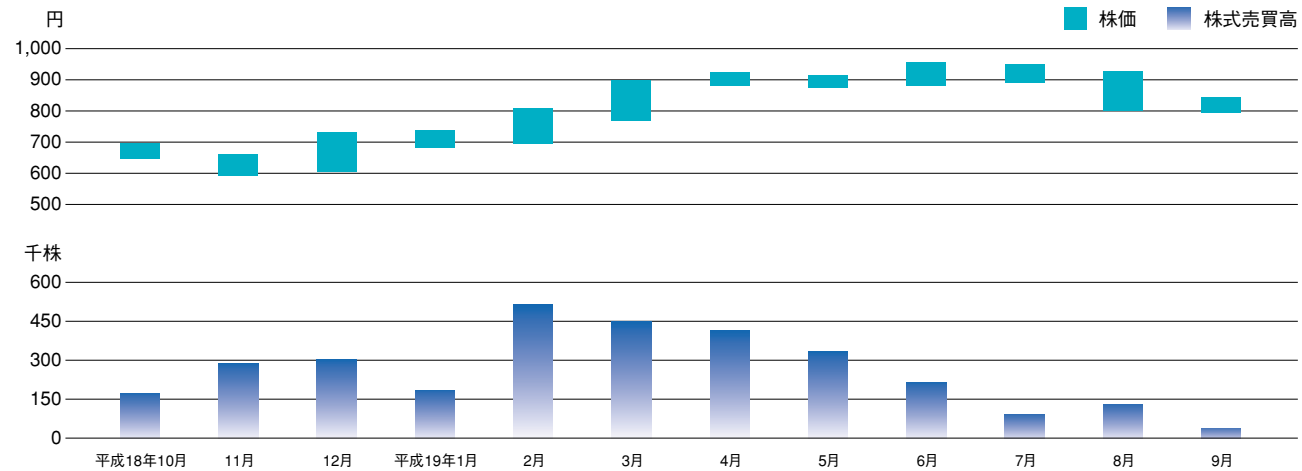
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱重工業株式会社	1,294	6.2
テクノ菱和取引先持株会	1,122	5.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,028	4.9
株式会社みずほ銀行	1,028	4.9
近重次郎	879	4.2
東京海上日動火災保険株式会社	824	3.9
テクノ菱和従業員持株会	721	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	712	3.4
株式会社名古屋銀行	670	3.2
明治安田生命保険相互会社	667	3.2

■ 株式の分布状況



株価データ(株価の推移)



会社概要

会社概要 (平成19年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
 (英文名 TECHNO RYOWA LTD.)
 設立 昭和24年12月23日
 資本金 2,746,800,000円
 上場 東証市場二部
 従業員 665名
 本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
 (登記上の本店 東京都港区南青山2丁目3番6号)

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)
 東京本店(東京都豊島区)
 札幌支店(北海道札幌市)
 茨城支店(茨城県土浦市)
 東北支店(宮城県仙台市)
 千葉支店(千葉県千葉市)
 横浜支店(神奈川県横浜市)
 名古屋支店(愛知県名古屋市)
 静岡支店(静岡県静岡市)
 大阪支店(大阪府大阪市)
 中国支店(広島県広島市)
 九州支店(福岡県福岡市)

事業内容

産業設備関連事業
 クリーンシステム(塵埃・微生物除去)
 恒温・恒湿設備・低湿度設備
 省エネルギー・省資源設備
 スポット空調設備
 産業排水・排気処理設備
 冷凍・冷蔵設備・超低温設備
 クリーン流体処理プラント
 生産プロセス関連工事
 原子力関連設備

一般ビル設備関連事業
 一般空調調設備
 給排水衛生設備
 防災・消火設備
 排水処理設備
 地域冷暖房
 コ・ジェネレーション設備

設備改善関連事業
 設備診断および設備リフォーム工事
 保守およびメンテナンス工事
 その他上記関連設備の運転管理および建築付帯設備などの設計施工ならびに関連機器類の製造、販売

建設業許可番号
 [特定建設業]
 管工事業
 建築工事業
 電気工事業
 機械器具設置工事業
 水道施設工事業
 国土交通大臣許可(特-16)第3101号

[一般建設業]
 消防施設工事業
 国土交通大臣許可(般-16)第3101号

一級建築士事務所
 東京都知事登録 第43570号

電気工事業
 経済産業大臣届出 第11020号

建築物環境衛生総合管理業
 東京都知事登録 17総第87号

一般労働者派遣事業
 厚生労働大臣許可 般13-090202

ISO9001認証取得
 ISO14001認証取得

役員 (平成19年9月30日現在)

代表取締役会長 林 昭八郎
 取締役副会長 近 重 次 郎
 代表取締役社長 阿 部 捷 司
 常務取締役 小 杉 道 夫
 常務取締役 黒 田 英 彦
 常務取締役 堂 垣 内 重 晴
 取締役 栗 山 一 成
 取締役 井 上 正 道
 取締役 杉 田 章 夫
 取締役 星 野 公 二
 取締役 小 森 光 男
 取締役 平 松 博
 取締役 井 尻 雅 之
 取締役 飯 田 亮 輔
 常勤監査役 酒 井 孝 司
 監査役 湊 博 志
 監査役 吉 田 達 法
 監査役 宮 本 光 平

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会については、3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株式名義書換	1.株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 2.事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 (電話お問い合わせ・郵便物送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話0120-232-711(フリーダイヤル) 3.同 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 (お知らせ) 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご利用ください。
単元株式数	100株
単元未満株式の買取請求受付場所	上記株主名簿管理人あるいは証券会社等にてお取扱いします。
公告方法	日本経済新聞に掲載いたします。 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET(証券取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。

株主ご優待制度のお知らせ

毎年3月31日現在当社株式を100株以上保有していただいている株主のみなさまに静岡の「特選茶」を贈呈いたします。

